

平成29年度業務実績報告書及び業務実績に関する評価（概要）

参考資料1

中期目標	年度計画	法人評価	評価委員会意見要旨	評価委員会意見に対する法人回答等	静岡市評価	静岡市評価理由
第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置						
1 地域医療を支える要としての静岡病院						
(1) 広大な市域を支える要としての活動	市民や学生に対し「医療」に関する情報の発信及び理解の促進に努める。	3	<ul style="list-style-type: none"> 若者に対してがんの知識を学んでもらうことはすごく大事なことだと思う。強力に進めるための人の確保が必要だが、積極的な姿勢から4でもよい。 市立病院として真っ先にごん教育に取り組んだのは評価したいが、まだ始まったばかりなので評価は3でよい。 評価は3でよい。これからのことを期待したい。 	<ul style="list-style-type: none"> 病院の業務には、「収益性の高い医療」と、政策医療などの「不採算な医療」、さらに市民への啓発・教育などの「公益事業」がある。独法に求められているのは、採算性と不採算・公益事業とのバランスを適切に保ちながら運営していくことであり、弾力的・効率的運営に努めたい。 	3	法人の実績に対し、評価「3」が適当である。
(2) 救急医療	救急医療の安定的な提供。	3	<ul style="list-style-type: none"> 二次救急医療において静岡はトップであるが、市立病院という意味合いからは一番手であるのが当然であるため、評価は3でよい。気持ちとしては3.9に近い。 この内容からすると3.5としたい気持ちはあるが、とりあえずの3。 		3	法人の実績に対し、評価「3」が適当である。
(3) 高度医療	実績の高い「心疾患」治療や、質の高い「がん」治療の提供。	4	<ul style="list-style-type: none"> PET検査件数について、同様の設備を持っている他病院と比べて多いのか、少ないのかわからない。 子宮頸がん検診を実施したが、産婦人科の外来と入院の患者が減少している。この関連をどう考えているか。 PET/CTについて、がん診療拠点病院として必要だから導入したもので、決して儲けようとして導入したわけではないと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> PETについては、患者や現場スタッフの状況等に考慮しながら、現在、7割～8割程度の稼働状況を維持している。自院のみならず、他院の患者も受け入れるなど、地域医療全体に寄与しており、がん診療連携拠点病院が具備すべき医療機器としての位置づけなどからも、採算性のみを求めて設置しているわけではない。また、今後は可能な範囲で他院との比較分析を踏まえた報告に努めていきたい。 	4	心臓血管外科及び循環器内科において、先進的な医療を提供するとともに、同診療科の手術件数については、ほぼ前年並みであり、前年同様、引き続き地域の心疾患治療の中心的役割を果たしている。 また、今年度よりPET/CTの稼働を開始し、自院の検査だけでなく他院からの紹介にも対応し、病連携の強化も行っている。 さらにがん関連の取組として、新たに「子宮体がん・子宮頸がん検診、超音波検査、HPV検査」を開始し、がん対策に関して一層の推進を図っている。 これらのことから「年度計画より上回って実施している」と評定し、評価「4」が適当である。
(4) 政策医療	感染症施設の維持、周産期医療の提供や生活習慣病への対応に努める。	3	<ul style="list-style-type: none"> 栄養士による指導や院内での防災訓練、水や食料の補充、設備の点検はルーチンな仕事と考えられるが目標としている理由は何か。 	（市回答）公立病院として確実に果たしていただきたいこととして目標にした。 （法人回答）従来の栄養・食事管理にとどまらず、栄養士の業務は進化している。範囲を病棟まで広げ「病棟栄養士」ともいえる活動を展開するなど、限られた人員で、当院は先行的な取り組みをしている。また、災害時備蓄についても、患者分のみならず、職員分も備蓄することとした。	3	法人の実績に対し、評価「3」が適当である。
(5) 災害時医療	災害を想定した訓練等の実施や、DMAT隊の編成など非常時に備える。	3			3	法人の実績に対し、評価「3」が適当である。
2 医療の質の向上と人材の確保						
(1) 総合的な診療とチーム医療の実施	専門性を生かしたチーム医療の実践。	3			3	法人の実績に対し、評価「3」が適当である。
(2) 先進医療機器や設備の整備	医療機器・施設について稼働状況及び対応年数などを踏まえ、的確に整備・更新を行う	3			3	法人の実績に対し、評価「3」が適当である。
(3) 医療職の確保、知識の取得、技術の向上	柔軟な勤務体制の整備、看護師の安定的な確保、実習生の受け入れなどを実施	3			3	法人の実績に対し、評価「3」が適当である。
(4) 臨床研修医の育成	臨床研修医の育成及び確保に努める	4			4	臨床研修医の確保に関し、リクルートイベントへの積極的な参加や医学生の病院見学への丁寧な対応に努めるとともに、研修支援プログラムの充実等、病院が一体となって臨床研修医確保の取組を実施している。 その結果、臨床研修医の確保が困難とされる現状の中、定員を遥かに上回る応募があり、フルマッチングできたことは、大きな成果である。 これらのことから「年度計画より上回って実施している」と評定し、評価「4」が適当である。
(5) 調査・研究、治験の実施	臨床研究や治験に積極的に取り組む	3	<ul style="list-style-type: none"> 患者の同意をどういう形でとっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 臨床研究・治験の実施については、患者の同意を含め、厳格なガイドラインによりそれを順守する形で各診療科長などが統括（責任者）している。 	3	法人の実績に対し、評価「3」が適当である。
3 医療の安全性と信頼性の向上						
(1) 十分な情報提供と適切な取扱い	インフォームドコンセントやセカンドオピニオンの実践、患者の会との交流など	3			3	法人の実績に対し、評価「3」が適当である。
(2) 医療安全管理等の徹底	医療安全や院内感染対策について、各委員会を中心に、院内への周知徹底・啓発を行う	3			3	法人の実績に対し、評価「3」が適当である。
(3) 市民への積極的な広報	ウェブサイトへ病院の情報を掲載するとともに、発信力の高いサイトへトリニユアルを行う	3	<ul style="list-style-type: none"> ウェブサイトはどのくらいの市民が見ているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 現状ではアクセス数の分析まで至っていない。医療情報を求める層は圧倒的に女性が優位という情報もあり、女性が主体的に情報収集している姿がうかがえる。そのことを踏まえたウェブサイトの運用に努めたい。 	3	法人の実績に対し、評価「3」が適当である。
4 利用しやすく快適な病院づくり						
(1) 患者第一の病院づくり	常に患者の立場を意識しながら医療サービスを行う	3			3	法人の実績に対し、評価「3」が適当である。
(2) 患者ニーズに応じた医療・病院環境の提供	患者満足度調査や待ち時間対策の実施、安らぎの空間の提供や接遇研修の実施など	2	<ul style="list-style-type: none"> かなり厳しい評価だと思う。理由は駐車場のようだが、市の中心部にある割にはいいと思う。 患者満足度は病院にとって一番大事なところなので、90%に達しなかったため、2でよいと思う。 患者は弱い立場であり、安心して治療を受けたいと思うため、その辺はもっとしっかりやってほしい。待ち時間等の問題を含め、先進的な民間病院をみてもらい、改善できる点があると思う。 目標を90%と定めた以上、2でも仕方ない。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果では、患者さんから不満の声が多い項目として、「駐車場の混雑」が挙げられている。自家用車での来院が60%と高い状況であることも影響していると思われるが、民間病院の取り組みなどを参考に改善に努めたい。 	2	患者満足度については、より患者の側に立ったサービスを提供すべく、ニーズ把握に係るアンケートの見直しや「患者からの意見」に関する検討会の開催等の取組を行うとともに、実際に事務処理手順の見直しを図り、会計の待ち時間を減少等、様々な対策を講じていることは評価できる。 しかし、実際に行った患者満足度調査においては、目標である「90.0%以上の維持」が達成できなかったことから、「年度計画より下回っている」と評定し、評価「2」が適当である。

平成29年度業務実績報告書及び業務実績に関する評価（概要）

参考資料1

中期目標	年度計画	法人評価	評価委員会意見要旨	評価委員会意見に対する法人回答等	静岡市評価	静岡市評価理由
5 市及び医療関係機関との連携、国内外医療関係機関との交流						
(1) 市立病院としての市との連携	市と連携し、計画の策定及び実行、評価に基づく改善などPDCAサイクルの実践	3			3	法人の実績に対し、評価「3」が適当である。
(2) 医療・保健・福祉・介護関係機関との連携	医師会のシステムなどを活用し、病診連携・病病連携を推進すること	4	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケアシステムの中で、大病院の役割としてどのようなことをやっているか。 医療連携は始まったばかりである。患者によって病院には後方支援をお願いする。評価に関しては数値で表すのは難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 当院の立場は、直接的に在宅医療に係るといふよりは、在宅医療を主体的に担う開業医、診療所の先生方と連携し、その活動を支えていく立場にある。医師会からの誘いにより、在宅医療に携わる診療所の先生に同行するかたちで、在宅医療の現場を訪れ、勉強させて頂いている。 	4	他の医療機関との連携において、前年度と同様にオープンシステム、病診がんカンファレンス等を開催するとともに、病診連携システムである「イージーイーツーネット」に係る整備の中で、各診療所に直接出向く等、積極的に地域の医療機関等との関係構築を図っており、結果として、目標（成果指標）を上回る紹介率、逆紹介率となった。また、他の公的病院や行政等とも、各種会議において、情報交換・交流に努めていることから、「年度計画より上回って実施している」と評定し、評価「4」が適当である。
(3) 国内外医療関係機関との交流	自治体病院学会等へ参加するなど、遠方の医療機関等とも交流を図ること	3			3	法人の実績に対し、評価「3」が適当である。
大項目評価（第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置）					B	中期計画の実現に向けておおむね順調に進捗している（小項目評価における3～5の割合が概ね9割以上）
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置						
1 働きやすい職場環境と職員のやりがいづくり						
(1) 働きやすい職場環境の整備	ワークライフバランスに配慮した勤務形態の整備、就労環境の向上を図る	4	<ul style="list-style-type: none"> 自治体時代の人事制度を引きずっているところはあるか。 民間企業からすると93パターンというのはいすこい数。民間だと不可能だと思うが、病院ではうまくまわっているのか。 Dr.まで変形労働制にいらして仕組みを作ったのはすこいことだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 自治体時代の人事制度からの脱却は十分とは言えないものの、救急体制の維持など、医療職の確保については独法の効果である。しかし、同時に、労基の指導も重なり、人員・人件費の増という別の課題に直面している。導入した変形労働時間制については、一定の効果は挙げているが、一定以上の人数の医師がいる診療科でしか導入できないことや、日勤と夜勤の職員数に偏りが生じるなど、本質的な問題は残るため、引き続き、様々な取り組みを続けていく必要があると考える。 	4	働きやすい職場環境を整備するため、各種研修やストレスチェック等の取組を実施し、職場環境の向上に努めた。また、働き方改革の流れを受け、医師の労働時間に関し、迅速に課題解決の取組を開始し、病院が一体となって、試行錯誤を繰り返しながら、新たに93パターンからなる変形労働時間制を設定し、医師の負担軽減と人件費の抑制を図ったことは評価できる。これらのことから、「年度計画より上回って実施している」と評定し、評価「4」が適当である。
(2) 職員のやりがいと満足度の向上	職員の意欲向上などを図るため、職員間のコミュニケーションの活性化及び情報共有の推進	3			3	法人の実績に対し、評価「3」が適当である。
2 業務運営体制の構築						
(1) 医療環境の変化に迅速・柔軟に対応できる体制の構築	組織体制を弾力的に改組し、外部環境の変化などに迅速に対応する	3			3	法人の実績に対し、評価「3」が適当である。
(2) 市民との連携・協働による病院運営の実施	ボランティアや地元自治会など、市民との協働による病院運営を実施する	3			3	法人の実績に対し、評価「3」が適当である。
(3) 外部評価等の活用	医療の質改善を図る「病院機能評価」、適正な会計処理を確認する「監事監査」の実施、民間のノウハウを活用	3			3	法人の実績に対し、評価「3」が適当である。
(4) 事務部門の強化	事務職員のプロパー化を計画的に進める	3	<ul style="list-style-type: none"> プロパー職員が増える中、市からの派遣職員がまだ50%くらいいるようだが、やる気やモラルはどうか。 民間では期間職員が成績がよいと正職員になる制度があるが、そういうものはあるか。 	<ul style="list-style-type: none"> 独法移行後の経験を重ねる中で、プロパー職員、派遣職員のそれぞれの資質などに適した業務が存在し、両者の長所を生かした配置計画の必要性を感じてきた。そうしたことから派遣職員のモチベーションなどは十分保たれていると考える。 	3	法人の実績に対し、評価「3」が適当である。
(5) 法令の遵守等	医療法などの関係法令や法人の各規程等を遵守するよう職員へ周知徹底を図る	3			3	法人の実績に対し、評価「3」が適当である。
大項目評価（第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置）					A	中期計画の実現に向けて順調に進捗している（全ての小項目評価が3～5の場合）
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置						
1 健全経営の維持						
(1) 安定的な経営の維持	収入の確保、費用の節減に努め、法人として安定的な経営を維持する	2	<ul style="list-style-type: none"> 調達をするとき、コンペ等をしているか。 医療機器の整備に関して機器選定委員会を開いているか。 より良い人材をとるためには、費用が多くなるのは仕方ないため、2でよいと思う。 まだスタートして間もないということで、2が妥当。 外来収入が下がっている。特に皮膚科と眼科の患者が減っていることが課題。外来の中から入院に繋がっていくと思うし、赤字なので2。 2で仕方ないと思うが、なるべく3に近づけるような不断の努力を続けていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 医療機器の購入にあたっては、選定委員会の設置、入札が基本である。薬品、材料については、外部コンサルタントと契約し、当院職員が、そのノウハウを学びつつ、精力的に、業者とのヒアリングを重ね、一昨年は3000-4000万、昨年は1000万程度の経費節減効果があった。 診療科各科の抱える、やむを得ない人的条件により、診療実績はかなり変動する。医師の需給は、この地域ではなお需要に見合った医師の応募が安定的に得られない状況下ではあるが、さまざまなチャンネルを生かして、医師の安定的確保、安定した従業、患者獲得に注力する。 	2	安定的な経営の維持について、新たな施設基準の取得による収入増加や薬価交渉等による費用節減を図ったものの、人員増や時間外手当増に係る人件費増の影響等による総費用の増をまかなうに至らなかった。成果指標に関しては、「総収支比率」及び「経常収支比率」とともに目標に1%満たないのみであったが、収支均衡が図れなかったことから、「年度計画より下回っている」と評定し、評価「2」が適当である。
(2) 収入の確保、費用の節減	患者の確保、診療報酬改定への的確な対応や、材料費など費用の抑制に努める	3			3	法人の実績に対し、評価「3」が適当である。
(3) 計画的な投資の実施	医療機器や施設整備等を計画的に実施する	3			3	法人の実績に対し、評価「3」が適当である。
大項目評価（第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置）					C	中期計画の実現のためにはやや遅れている（小項目評価における3～5の割合が概ね9割未満）
第4 その他業務運営に関する重要事項に係る目標を達成するためとるべき措置						
1 地球環境に配慮した病院運営	環境負荷の少ない機器の購入など、地球環境に配慮した病院運営に努める	4	<ul style="list-style-type: none"> 色々努力しているということで4でよいと思う。 数値の目標が今一つわからないので、3でよいと思う。 結論から言うと3。ただし、判断する材料がないので判断できない。 非常にいい部分があるので4でよいと思う。 		3	地球環境に配慮した病院運営に係る取組として前年に引き続きLED照明への切り替えや新たに「5S活動」を実施し、リサイクルの推進を行うことで、コストの削減とリサイクル料収入増加は評価できるが、関連指標である「ガス使用量」及び「水道使用量」は前年より増加しており、病院におけるCO2排出量もほぼ横ばいであることから、「年度計画どおり実施している」と評定し、評価「3」が適当である。 ※ CO2排出量 (t-CO2) H29 8,173 H28 8,174
大項目評価（第4 その他業務運営に関する重要事項に係る目標を達成するためとるべき措置）					A	中期計画の実現に向けて順調に進捗している（全ての小項目評価が3～5の場合）